丸ごと読ませる方法と、RAGの20問比較の報告

見本：架空の会社の規程で作成。
実在の会社の結果ではありません

見本

お客様	サンプル株式会社（架空の会社）
対象の文書	社内の規程集（約24万字という前提・架空）
比べたやり方	丸ごと読ませる／RAG
質問の数	20問
作成	株式会社ARCHECO

この報告でわかること
20問で、2つのやり方の「正しく答えた数」と「1回の質問のAIの利用料」を比べ、月の費用の試算と、おすすめを出します。20問では本番の正しさまでは分からないため、方式と月の費用を決める材料としてお使いください。

1　目的

サンプル株式会社の社内の規程集（約24万字）に、社員が質問したとき、次の2つのやり方のどちらが合うかを、作る前に確かめます。

丸ごと読ませる
文書を全部そのままAIに渡して答えさせる（ChatGPT にファイルを添付して聞くのと同じ）。準備は要らないが、質問のたびに全部を読むので、1回の費用が高い。

RAG
関係するページだけを探して渡す。準備は要るが、1回の費用が安い。

2　比べ方

20問の作り方

- 20問は、ARCHECOが規程集から作りました。社員がしそうな質問で、正しい答えは「どの規程の何条か」まで決めます。
- 1か所を読めば分かる質問、複数の条を読み合わせる質問、表の数字を引く質問、改定前と後で答えが変わる質問を入れます。
- 文書に答えがない質問も入れます。答えがないときは、作り話をせず「記載がありません」と答えられるかを見ます。

採点の仕方

- 答えが文書のとおりか、を○×で採点します。担当2名が別々に採点します。
- 文書に答えがない質問は、「記載がありません」と答えたら○です。
- 同じ20問を、2つのやり方で同じ条件で試します。
- AIの利用料は、1回の質問で実際に読み込んだ文字の量と、答えを書いた量から出します。

採点の表（20問分の一部の形）

質問	正しい答え（根拠）	丸ごと	RAG
育児休業は、いつまでに申し出ればよいですか	開始日の1か月前まで（育児・介護休業規程 第○条）	○	○
出張の日当はいくらですか	文書に記載なし	○	○

3　結果

	丸ごと読ませる	RAG
正しく答えた数（20問中）	17問	18問
1回の質問のAIの利用料	約90円	約3円

正しさは、どちらも高い結果でした。差が大きいのは、1回あたりの利用料です。丸ごと読ませる方法は、質問のたびに規程集の全部（約24万字）を読み直すためです。

4　外れた問題の例

外れた問題は、丸ごと読ませる方法が3問（20問 − 17問）、RAGが2問（20問 − 18問）でした。次は、架空の規程の範囲での例です。

丸ごと読ませる　例外の条を読み落とした

質問：「試用期間中の社員も、出張旅費を請求できますか」。原則の条は拾ったが、別の章にある例外の条件を落として答えた。長い文書では、離れた場所の条件を見落とすことがあります。

丸ごと読ませる　古い版の記述を使った

質問：「在宅勤務の申請は、いつまでに出しますか」。同じ規程集に、改定前の記述と改定後の記述が並んでいて、改定前のほうで答えた。

RAG　探し損ね

質問：「第12条の申請期限は？」。意味の近い別の条を拾ってしまい、正しい条が候補に入らなかった。言葉の一致でも探す（キーワード検索）を足すと直る型です。

RAG　答え方

質問：「慶弔休暇は何日ですか」。文書は正しく拾えていたが、「配偶者の場合」という条件を落として答えた。答え方（条件を省かない）を直す型です。

どの外れも、元の文書を答えに付けて、社員が文書で確かめられるようにすることで、見つけやすくなります。20問は本番の正しさを示すものではなく、外れ方の傾向を見る材料です。

5　月の費用の試算

前提：サンプル株式会社の社員100人が、1日10回ずつ質問し、月20日使うと、月2万回です（100人 × 10回 × 20日）。規程集は約24万字、RAGは1回に関係する部分 約5,000字を読む前提です。AIの利用料だけの比べです。

	丸ごと読ませる	RAG
1回の質問のAIの利用料	約90円	約3円
月のAIの利用料（2万回）	約180万円	**約6万円**

AIの単価は2026年11月16日の gpt-5.4 の公開単価（読み込み 100万トークンあたり2.5ドル、答えを書く分 15ドル）、1ドル150円で、日本語1文字を1トークンと高めに見積もっています。RAGには、このほかに文書を探す仕組みと保管の固定の費用（約3万円）がかかります。

6　おすすめと、次の一歩

おすすめ：RAG

正しく答えた数は17問と18問で、ほぼ同じです。1回の利用料は約90円と約3円で、質問が多いほど差が開きます。社員が毎日使う規程の問い合わせには、RAGが合います。

次の一歩

1. **採点表を100問ほどに広げる**（本番の前の目安）。合格の点数を、作る前に数字で決める（例：100問中85問が文書のとおり）。
2. **見てよい範囲を決める。**部署や役職ごとに見てよい文書が違うなら、RAGを作る価値があります。
3. **構築の型を決める。**部署1つ・1種類の文書なら、2か月・320万円から（税別）の小の型です。

この報告は見本です。御社の文書20問で比べる「無料の20問比較」は、秘密保持契約を結び、Microsoft Azure 東日本の比較専用の場所で担当2名だけが扱います。報告から7日以内にすべて削除し、削除の証明書をお渡しします。報告の後に、こちらから営業の連絡を重ねることはしません。